

# 歩み続ける まち

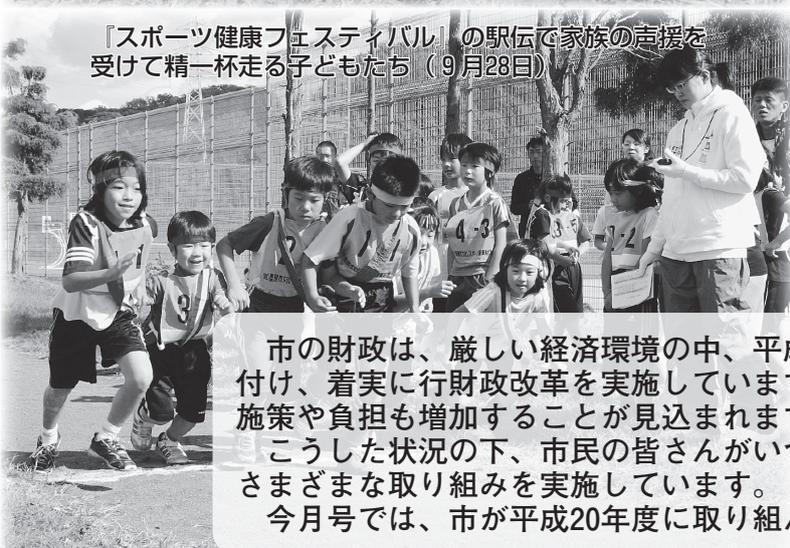


千歳町のふれあい農園で『田植え』を体験する子どもたち（6月7日）

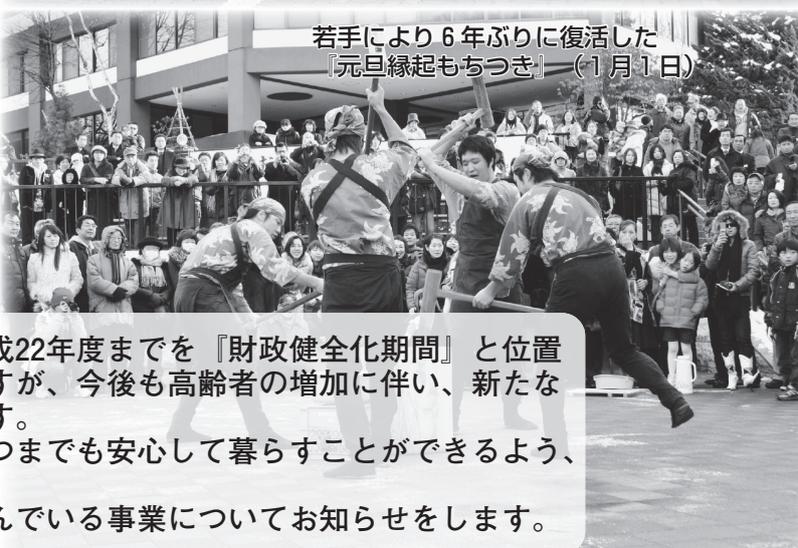


## おかげさまで 登別温泉は 開湯150年を迎えました

登別温泉開湯150年の冠を付けて行われた『第45回地獄まつり』オープニング（8月30日）



『スポーツ健康フェスティバル』の駅伝で家族の声援を受けて精一杯走る子どもたち（9月28日）



若手により6年ぶりに復活した『元旦縁起もちつき』（1月1日）

市の財政は、厳しい経済環境の中、平成22年度までを『財政健全化期間』と位置付け、着実に行財政改革を実施していますが、今後も高齢者の増加に伴い、新たな施策や負担も増加することが見込まれます。こうした状況の下、市民の皆さんがいつまでも安心して暮らすことができるよう、さまざまな取り組みを実施しています。今月号では、市が平成20年度に取り組んでいる事業についてお知らせをします。

### 登別温泉開湯150年 記念行事の開催

登別温泉は、安政5年（1858年）に岡田半兵衛が道路を開削して『止宿所』を建て、この年、滝本金蔵が湯守になってから、開湯150年の節目を迎えました。

併せて、懸案だった登別温泉バイパスが昨年7月に開通し、国内でも珍しい天然の間欠泉を利用した新たな名所『泉源公園』が完成しました。この記念の年を祝い、登別温泉のさらなる発展を願って、昨年5月に行われた『市民植樹祭』から今年2月に行われた『第38回湯まつり』まで一年を通してさまざまな記念の催しが『登別温泉開湯150年記念』の冠を付けて行われました。

今年も、登別温泉で温泉とトライアスロンを組み合わせた新競技『スパトライアスロン』が6月に開催することが決定し、さらなる登別温泉の飛躍が期待されています。



▲『開湯150年記念式典』でテープカットを行う地元のお年寄り



▲泉源公園で市民と観光客が一緒になって楽しんだ『お宿の浴衣で盆踊り』

▲約320人の市民の方が参加して2,000本の桜の苗木を植えた『市民植樹祭』

### 北海道洞爺湖サミットに 関連した市内の取り組み

7月7日から9日までの3日間、洞爺湖町において北海道洞爺湖サミットが開催され、登別温泉にもアメリカの政府代表団や中国の国家主席が宿泊し注目を集めました。

市内でも、市民の皆さんとともに、サミットのテーマのうち特に温暖化環境問題とアフリカ支援に関するさまざまな取り組みが行われ、市内で一斉に道路や公園、広場などのごみ拾いを行った『洞爺湖サミット記念クリーン作戦』や、各町内会による『花壇づくり』など、きれいなまち